

『JR 四国と四国 4 国立大学の連携による観光コンテンツの開発』

(目的)

徳島大学、香川大学、愛媛大学、高知大学と J R 四国との間で、平成 29 年 9 月に四国の地域活性化を目的として、地域振興・観光振興・人材育成について連携協力する協定を締結した。

各大学の学生が地域の資源を調査し、地域振興や観光振興の素材として付加価値付けを行い、地域に人を呼ぶ観光ツアープランを提案し、J R 四国がそのツアープランを基に旅行の商品化を行う。地域振興・観光振興の実践的な学習を通じて、地域活性化を担う人材育成をすることが目的である。

(対象学生)

1 年～ 4 年生までいるが、メインは 1・2 年生である。理由は、8 月から学生たちの活動が始まり、翌年 9 月に審査会を経て、実際にツアーが実行されるのが翌々年の 3 月～ 6 月と 2 年近くかかるものであり、3 年生・4 年生の場合は卒業してしまうため。受講者数は 2018 年度 4 大学で 21 名。

(内容)

JR 四国からは、審査会（4 大学間での審査、学内予選審査、中間報告会）、ツアー開発でのアドバイス（企画段階及び実際にツアー商品化される段階でのアドバイス）など専門的な見地から協力を得ている。また、各大学に実施経費が配分されているほか、鉄道を使って調査する場合は、JR 四国から旅費をサポートしていただいている。

(成果)

平成 30 年 9 月 25 日に、「地域観光チャレンジ 第 1 回発表・審査会」として、1 年間かけて各大学の学生が調査提案した観光プランの発表・審査会を開催した。各大学の学長、J R 四国社長等が審査員となり、4 大学からの各 2 件ずつの観光プランのプレゼンテーションについて審査を行い、審査会で発表された 8 件の観光プランは、平成 31 年度において観光ツアーパックとして商品化された。平成 31 年 3 月・4 月（第 1 弾）から 5 月・6 月（第 2 弾）かけて、最初のツアーが催行された。

高知大学の「地域観光チャレンジ」への取組

○地域協働学部石筒准教授のもとで、1～2 年生が共通教育授業（地域協働企画立案・協働実践自己分析）として参加。通年共通 2 単位という集中講義形式で行っている。

○1 期生（9 名）は「須崎の魅力ちよい体験」、「後免で伝えるありがとうの旅」を企画開発。2 期生（9 名）は「34m-海と学ぶ防災旅-」、「家族の思い出作りをしよう！-いの町紙すき体験と食満喫ツアー-」を企画。3 期生（26 名）は企画を検討中。なお、1～2 年生を中心にサイクリング観光を企画しているチームがある。

○J R 四国・善通寺市のインターンシップにも本学学生が参加。

○現在は学生の自主性が高いため単位取得後も引き続き地域観光チャレンジに取り組んでいるが、今後 4 期 5 期となった時に意欲の高い学生が参加してくれるかは不透明。

2020年のスケジュール

- 1/27 (月) ~ 企画商品発表 (プレスリリース、JR 四国定例会見)
1/30 (木) ~ 企画商品販売開始
- 2/17 (月) 地域観光チャレンジ中間報告会 (香川大学)
- 5/16 (土) 海と学ぶ防災旅 (黒潮町) 一泊二日
5/17 (日) //
5/23 (土) 思い出を作ろうーいの町紙漉き体験と食満喫ツアー (いの町)
- 7月中旬 地域観光チャレンジ 2019 実施報告会
7~8月 地域観光チャレンジ 2020 学内審査
8~9月 インターンシップ 各大学 1名×2週
- 9/24 (木) 地域観光チャレンジ 2020 最終審査会 (オーテピア開催) 午後
学生交流会、エクスカージョン (前後)
- 12月 情報意見交換会 (高松市)

以上